

# 2017年度 決算概要

---

## I. 2017年度 連結業績概要

## II. 2018年度 連結業績予想

## III. 補足資料

---

シャープ株式会社

2018年4月26日

### 【見通しに関する注意事項】

本資料に記載されている内容には、シャープ株式会社及び連結子会社（以下、総称して「シャープ」という）の計画、戦略、業績など将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は過去または現在の事実ではなく、現時点で入手可能な情報から得られたシャープの仮定や判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスク、不確実性及びその他の要因が内在しています。それらの影響により、シャープの実際の業績、事業活動、財務状況は、これらの見通しと大きく異なる場合があります。また、新たな情報、将来の事象、その他にかかわらず、シャープが将来の見通しに関する記述を見直すとは限りません。なお、業績など実際の結果に影響を与えうるリスク、不確実性及びその他の要因としては、以下のものが挙げられますが、これらに限られるものではありません。

- (1) シャープの事業領域を取り巻く経済情勢
- (2) シャープの製品やサービスの需要動向の変化や価格競争の激化
- (3) 為替相場の変動(特に、米ドル、ユーロ、その他の通貨と円との為替相場)
- (4) 諸外国における貿易規制等の各種規制
- (5) 他社との提携、アライアンスの推進状況
- (6) シャープに対する訴訟その他法的手続き
- (7) 製品やサービスについての急速な技術革新 など

※本資料の記載金額は、億円未満切り捨て表示としています。

※前年増減額等は、表示された億円単位の金額を元に算出しております。

## I . 2017年度 連結業績概要

**SHARP**

1

- ・ 本日はご多忙な中、お集まり頂きありがとうございます。  
また日頃は、当社の広報(IR)活動にご協力頂き、まことにありがとうございます。
- ・ それでは、お手許にお配りしておりますパワーポイント資料に沿って、説明いたします。

## 2017年度 連結業績概要(1)

- 2017年度の業績は、前年度から大きく改善
- 売上高は、前年度比18%の増収、全セグメントの売上が伸長
- 利益は、年間を通じて順調に推移、リーマンショック前となる2007年度以来、10年ぶりに全四半期が最終黒字
- 業績や財務の状況、今後の事業展開等を勘案し、2011年度以来 6年ぶりに 配当を実施

**SHARP**

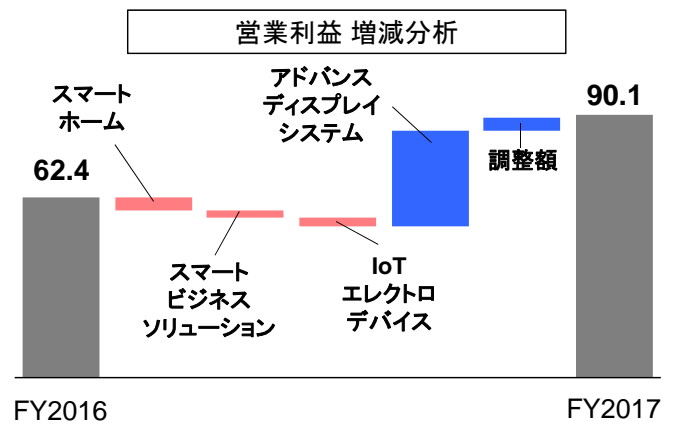
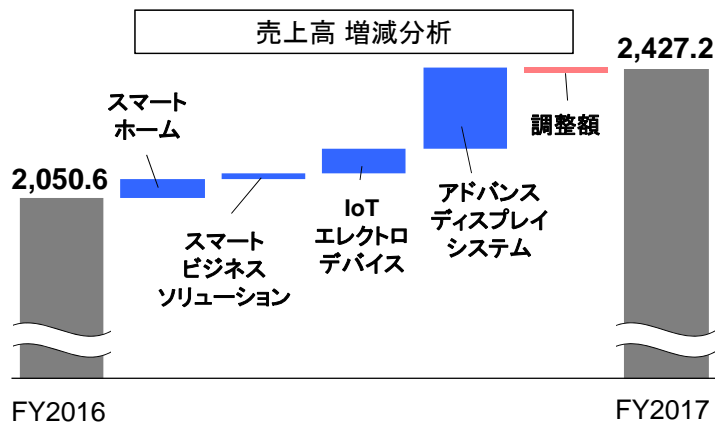
2

- まず、2017年度の連結業績概要です。
- 2017年度の業績は、売上、各利益とも、前年度から大幅に改善いたしました。
- 売上高は、前年度を大きく上回り、18%の増収となりました。  
売上は、全セグメントで伸長しております。
- 利益も、年間を通じて順調に推移し、  
リーマンショック前となる2007年度以来、10年ぶりに  
全四半期で親会社株主に帰属する四半期純利益が、黒字となりました。
- なお、こうした業績の改善や財務の状況、今後の事業展開等を総合的に勘案し、  
2011年度以来 6年ぶりに配当を実施することといたしました。

# 2017年度 連結業績概要(2)

(単位:十億円)

	2016年度	2017年度				予想差	2017年度
	通期	上期	下期	通期	前年比		通期予想
売上高	2,050.6	1,115.1	1,312.1	2,427.2	+18.4%	-82.8	2,510.0
営業利益	62.4	40.5	49.5	90.1	+44.3%	-2.9	93.0
経常利益	25.0	41.1	48.1	89.3	3.6倍	+2.3	87.0
親会社株主に帰属する 当期純利益	-24.8	34.7	35.4	70.2	-	+1.2	69.0
平均為替レート							
ドル円	107.39	110.07	109.64	109.86			
ユーロ円	117.29	124.79	131.62	128.20			



SHARP

- 次のスライドは、2017年度の業績数字をまとめたものです。

大手顧客の需要変動に伴い、IoTエレクトロデバイスが想定を下回ったことから、売上高、営業利益は通期予想に届きませんでした。

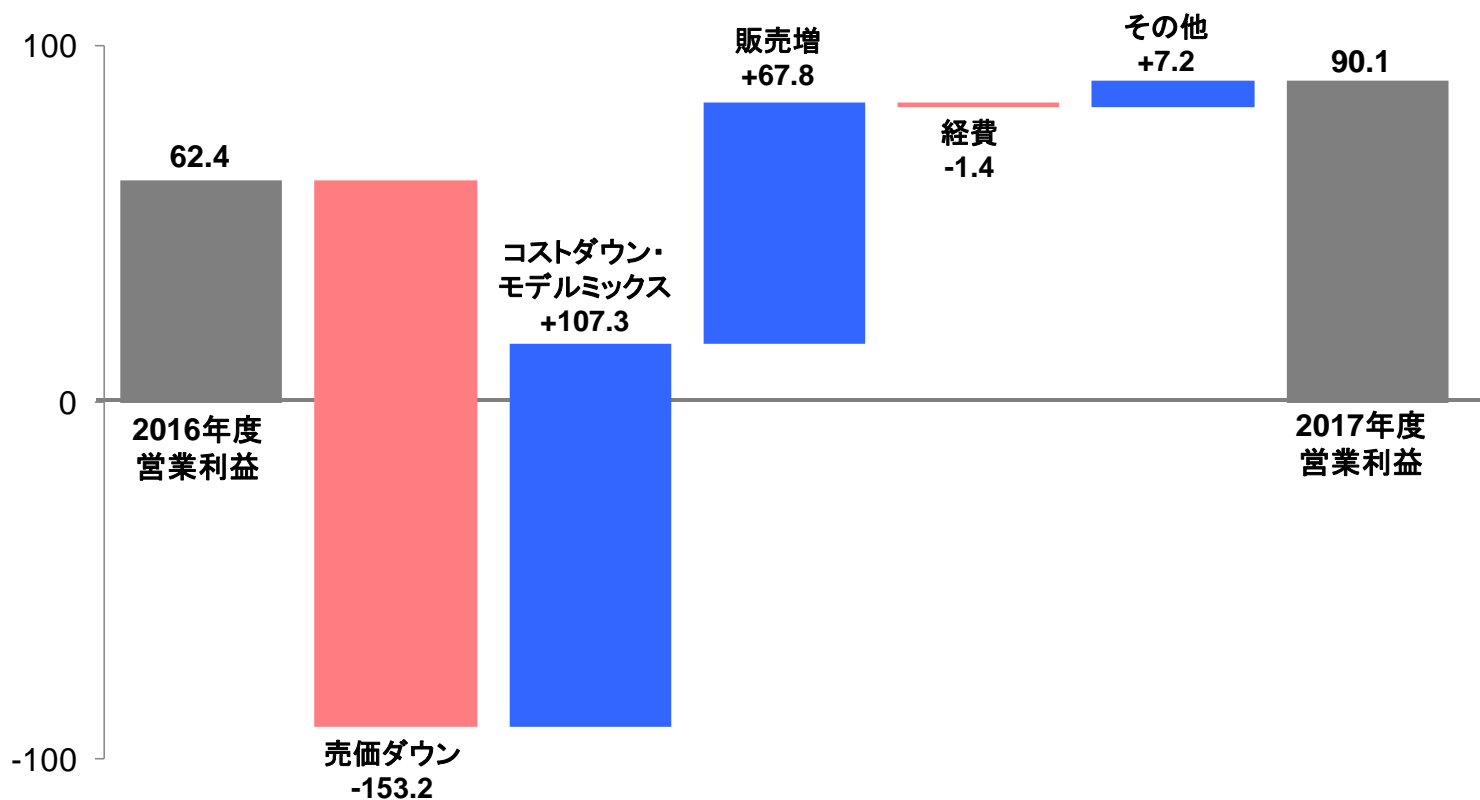
しかし、継続的に構造改革に取り組み、収益力の強化に努めた結果、経常利益と親会社株主に帰属する当期純利益は、昨年10月に上方修正した通期予想を上回ることができました。
- 売上高は、アドバンスディスプレイシステムをはじめ各セグメントともに増収となり、前年度から18.4%増の2兆4,272億円となりました。
- 営業利益は、アドバンスディスプレイシステムが大幅な増益となり前年度比44.3%増の901億円となりました。

経常利益は前年度比3.6倍の893億円、親会社株主に帰属する当期純利益は702億円に、それぞれ大きく改善しています。

当期純利益については、新体制移行時の想定を上回るスピードで、通期での黒字化を達成することができました。

# 2017年度 営業利益 要因別増減分析(対前年度)

(単位:十億円)



SHARP

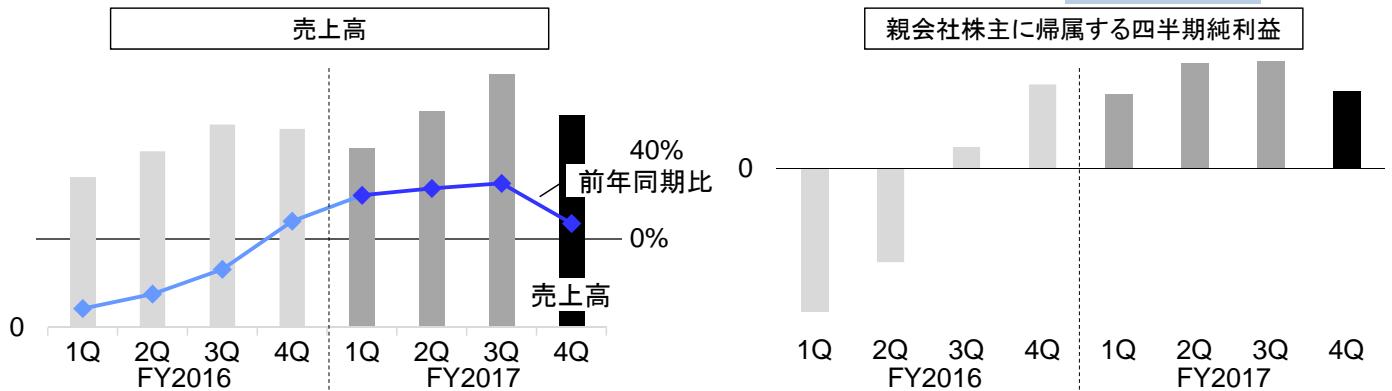
4

- ・ 次のグラフは、営業利益の前年比での要因別の増減分析です。ご覧のように、2017年度の営業利益は、前年から大幅に伸長し、901億円となっています。
- ・ 「売価ダウン」による1,532億円の利益減はあったものの、1,073億円の「コストダウン」や、「販売増」による678億円の利益の増加などがあり、前年度比で4割を超える増益とすることができました。

# 2017年度 第4四半期 連結業績概要

- ・2017年度 第4四半期の売上高は、引き続き堅調で、前年同期を上回る
- ・営業利益、経常利益は、前年同期の一過性の増加要因156億円などを除くと、ほぼ前年並み
- ・四半期純利益は、構造改革の進展もあり、上記を含めても、前年並みの黒字を確保 (単位:十億円)

	2016年度	2017年度					前同比							
	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q									
売上高	559.3	506.4	608.7	714.2	597.8	+6.9%								
営業利益	43.5	17.1	23.4	29.7	19.7	-54.5%								
経常利益	40.3	17.1	23.9	29.9	18.2	-54.9%								
親会社株主に帰属する 四半期純利益	16.2	14.4	20.2	20.6	14.8	-8.9%								
	<table border="1"> <tr> <td>一過性要因</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>+15.6</td> </tr> <tr> <td>原材料契約変更</td> <td>+10.1</td> </tr> <tr> <td>退職給付</td> <td>+5.5</td> </tr> </table>						一過性要因		計	+15.6	原材料契約変更	+10.1	退職給付	+5.5
一過性要因														
計	+15.6													
原材料契約変更	+10.1													
退職給付	+5.5													
平均為替レート														
ドル円	112.64	110.10	110.04	111.98	107.30									
ユーロ円	119.58	120.69	128.88	131.51	131.73									



SHARP

5

- ・ 次のスライドは、2017年度 第4四半期の業績数値をまとめたものです。
- ・ 売上高は、年間を通じ前年同期を上回ることができました。  
第4四半期は、大手顧客の需要変動により、IoTエレクトロデバイスが大きな影響を受けたものの、全体では前年同期比6.9%増となる5,978億円となりました。
- ・ 営業利益は、前年同期比54.5%減の197億円  
経常利益は、54.9%減の182億円  
親会社株主に帰属する四半期純利益は、8.9%減の148億円となりました。

利益については、

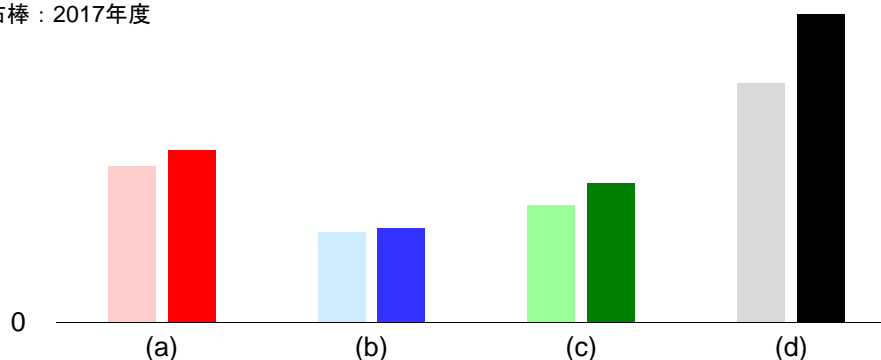
大手顧客の需要変動の影響で、IoTエレクトロデバイスが赤字となったこと、前年は発生した原材料の購入契約の変更や退職給付費用の減少といった156億円以上の特殊要因がなかったことなどから、前年同期を下回りました。しかしながら、継続的な構造改革の効果もあり、2017年度は全4四半期で親会社株主に帰属する四半期純利益を黒字にすることができております。

# セグメント別売上高

(単位:十億円)

	2016年度	2017年度					通期	前年比
	通期	上期	3Q	4Q	下期			
(a) スマートホーム	550.6	290.6	148.9	168.3	317.3	607.9	+10.4%	
(b) スマートビジネスソリューション	317.7	162.7	80.1	88.2	168.4	331.1	+4.2%	
(c) IoTエレクトロデバイス	413.6	192.2	189.3	109.8	299.2	491.5	+18.8%	
(d) アドバンスディスプレイシステム	842.0	521.6	314.6	250.2	564.9	1,086.5	+29.0%	
小計	2,124.0	1,167.2	733.2	616.7	1,349.9	2,517.2	+18.5%	
調整額	-73.4	-52.0	-18.9	-18.9	-37.8	-89.9	-	
合計	2,050.6	1,115.1	714.2	597.8	1,312.1	2,427.2	+18.4%	

左棒：2016年度  
右棒：2017年度



※セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

SHARP

6

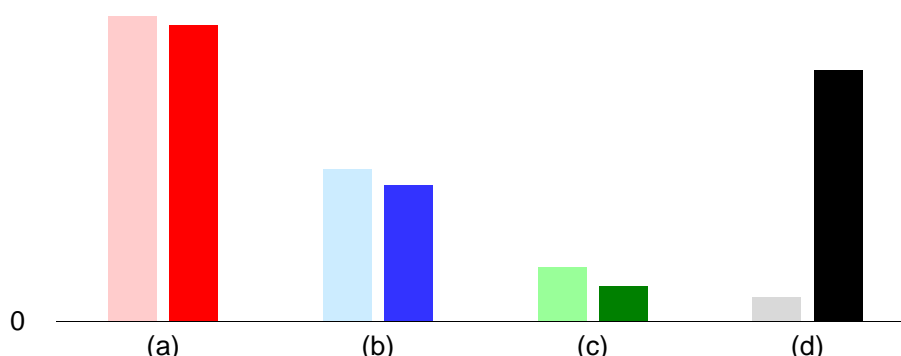
- ・ 次のスライドは、セグメント別売上高の一覧になります。  
ご覧のとおり、全セグメントとも着実に伸長しております。
- ・ スマートホームの売上高は、前年比10.4%増の6,079億円となりました。  
「AQUOS Rシリーズ」や「AQUOS sense」などの携帯電話に加え、  
コードレス掃除機「RACTIVE Air」などの掃除機、さらには洗濯機も好調でした。  
また、エネルギーソリューション事業も、海外EPC事業などが堅調でした。
- ・ スマートビジネスソリューションは、海外の複合機が堅調で、サイネージも好調に推移した  
ことなどから、前年比4.2%増の3,311億円となりました。
- ・ IoTエレクトロデバイスは、大手顧客の需要変動の影響はあったものの、  
スマートフォン向けカメラモジュールが大幅に増加し、センサモジュールや半導体などの  
独自デバイスも好調であったため、前年比18.8%増の4,915億円となりました。
- ・ アドバンスディスプレイシステムは、前年比29.0%増の1兆865億円となりました。  
タブレットや車載用など中型パネルが順調に推移したほか、  
大手顧客向けスマートフォン用パネルなどが前年を上回りました。  
加えて、中国やアジア、欧州で液晶テレビの売上も伸長しました。

# セグメント別営業利益

※()内の数字は営業利益率です。(単位:十億円)

	2016年度	2017年度					
	通期	上期	3Q	4Q	下期	通期	前年比
(a) スマートホーム	48.4 (8.8%)	20.4 (7.0%)	10.6 (7.2%)	12.5 (7.5%)	23.2 (7.3%)	43.7 (7.2%)	-9.7%
(b) スマートビジネスソリューション	22.5 (7.1%)	8.9 (5.5%)	3.6 (4.5%)	7.6 (8.6%)	11.2 (6.7%)	20.1 (6.1%)	-10.6%
(c) IoTエレクトロデバイス	8.0 (1.9%)	3.6 (1.9%)	5.1 (2.7%)	-3.5 (-3.2%)	1.5 (0.5%)	5.1 (1.0%)	-35.9%
(d) アドバンスディスプレイシステム	3.5 (0.4%)	16.3 (3.1%)	13.1 (4.2%)	7.4 (3.0%)	20.6 (3.7%)	37.0 (3.4%)	10.4倍
小計	82.5 (3.9%)	49.3 (4.2%)	32.6 (4.4%)	24.0 (3.9%)	56.7 (4.2%)	106.0 (4.2%)	+28.5%
調整額	-20.1	-8.7	-2.8	-4.3	-7.1	-15.9	-
合計	62.4 (3.0%)	40.5 (3.6%)	29.7 (4.2%)	19.7 (3.3%)	49.5 (3.8%)	90.1 (3.7%)	+44.3%

左棒：2016年度  
右棒：2017年度



SHARP

7

- 次はセグメント別営業利益の一覧です。  
前年度に続き、全セグメントが黒字となりました。
- スマートホームは、原材料購入契約の変更など、前年には発生した特殊要因がなかったため、前年を下回りましたが、携帯電話のラインナップ拡充や販路拡大、掃除機など独自新商品による販売増、継続的なコストダウンにより、437億円の黒字を確保しております。
- スマートビジネスソリューションは、価格下落の影響や警備ロボット事業の終息などから、前年は下回ったものの、増収効果や経費削減の取り組みにより、201億円の黒字となりました。
- IoTエレクトロデバイスは、大手顧客の需要変動の影響を受け、第4四半期こそ赤字となりましたが、年間を通じたコストダウンの成果もあり、通期では51億円の黒字を確保しました。
- アドバンスディスプレイシステムは、前年度比10.4倍の370億円となりました。  
液晶テレビ事業は、価格下落の影響があったものの、中国など海外で販売が好調であったことから、黒字を継続しています。  
ディスプレイ事業は、車載用パネルをはじめとする中型パネルへのカテゴリーシフトやコストダウンが寄与し、大きく改善しました。



# 営業外損益・特別損益・法人税等の概要

(単位:十億円)

	2016年度	2017年度					
	通期	上期	3Q	4Q	下期	通期	前年 増減額
営業利益	62.4	40.5	29.7	19.7	49.5	90.1	+27.7
営業外損益	-37.3	+0.5	+0.2	-1.5	-1.3	-0.8	+36.5
内: 為替差益	-3.3	+5.7	+1.5	-0.7	+0.7	+6.4	+9.7
支払利息	-6.3	-2.4	-1.1	-1.1	-2.3	-4.8	+1.5
持分法による投資損益	-18.6	+0.9	+1.2	-2.0	-0.7	+0.1	+18.7
経常利益	25.0	41.1	29.9	18.2	48.1	89.3	+64.3
特別損益	-25.6	-0.6	-0.3	+1.1	+0.7	0.0	+25.6
内: 投資有価証券売却損益	+3.2	-	-	+0.7	+0.7	+0.7	-2.5
段階取得に係る差損益	-	-1.4	-0.4	+0.3	-0.1	-1.5	-1.5
減損損失	-34.6	-	-0.9	-0.9	-1.9	-1.9	+32.7
税前利益	-0.5	40.4	29.6	19.3	48.9	89.4	+89.9
法人税等 他	-24.2	-5.6	-8.9	-4.5	-13.4	-19.1	+5.1
親会社株主に帰属する 四半期純利益	-24.8	34.7	20.6	14.8	35.4	70.2	+95.0

SHARP

8

- ・ 次のスライドは、主な「営業外損益」・「特別損益」・「法人税等」の概要です。
- ・ 2017年度の「営業外損益」は、「持分法による投資損益」が黒字化したことなどから、前年に比べ、改善しました。
- ・ また、特別損益についても、「段階取得に係る差損」があったものの、「減損損失」が減少したこともあり、改善しています。

# 連結貸借対照表推移

- ・2018年3月末の純資産は、2017年12月末の3,895億円から4,017億円に増加
- ・自己資本比率も19.8%に上昇

(単位:十億円)

	2016年度	2017年度			2016年度	2017年度	
	3月末	12月末	3月末		3月末	12月末	3月末
現預金	482.1	397.6	422.3	支払手形・買掛金	350.5	510.4	429.4
受取手形・売掛金	375.5	578.8	471.5	短期借入金	113.5	79.2	81.2
たな卸資産	217.8	214.4	219.7	1年内社債	0.0	0.0	10.0
その他	118.1	123.6	110.1	その他	337.5	334.0	313.2
<b>流動資産計</b>	<b>1,193.7</b>	<b>1,314.7</b>	<b>1,223.7</b>	<b>流動負債計</b>	<b>801.6</b>	<b>923.7</b>	<b>833.9</b>
有形固定資産	349.6	419.0	428.5	社債	40.0	40.0	30.0
無形固定資産	42.3	43.5	44.7	長期借入金	490.3	505.2	507.0
投資その他資産	187.9	220.6	211.5	その他	133.9	139.5	135.9
<b>固定資産計</b>	<b>579.9</b>	<b>683.2</b>	<b>684.9</b>	<b>固定負債計</b>	<b>664.2</b>	<b>684.7</b>	<b>673.0</b>
繰延資産	0.0	0.0	0.0	<b>純資産</b>	<b>307.8</b>	<b>389.5</b>	<b>401.7</b>
<b>資産合計</b>	<b>1,773.6</b>	<b>1,997.9</b>	<b>1,908.6</b>	<b>負債 純資産合計</b>	<b>1,773.6</b>	<b>1,997.9</b>	<b>1,908.6</b>
期末日レート				自己資本比率	16.6%	18.7%	19.8%
ドル円	111.20	112.05	105.27				
ユーロ円	118.28	133.45	129.08				

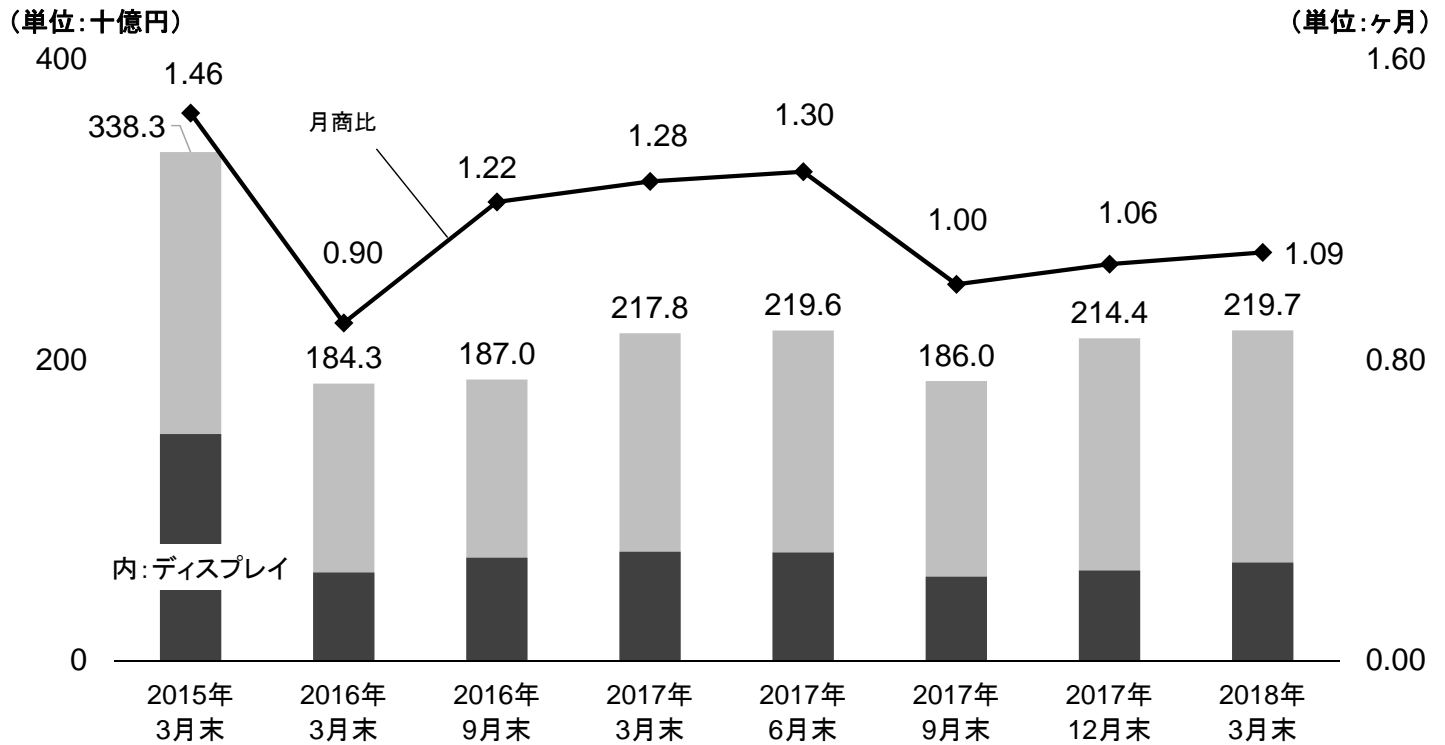
SHARP

9

- ・ 次のスライドは、貸借対照表の推移です。
- ・ 2017年度末の「現預金」は、収益が順調に推移したこともあり、第3四半期末の3,976億円から、4,223億円へと増加しています。
- ・ 2017年度末の「純資産」は、親会社株主に帰属する四半期純利益が黒字となったことなどから、第3四半期末に比べ122億円増加し、4,017億円となりました。
- ・ 「自己資本比率」についても、第3四半期末の18.7%から19.8%に、引き続き上昇しています。

# たな卸資産の推移

- ・たな卸資産は、2017年12月末の2,144億円に対し、2,197億円とほぼ横ばい
- ・今後の販売計画等を勘案し、引き続き適正な在庫水準を維持



SHARP

10

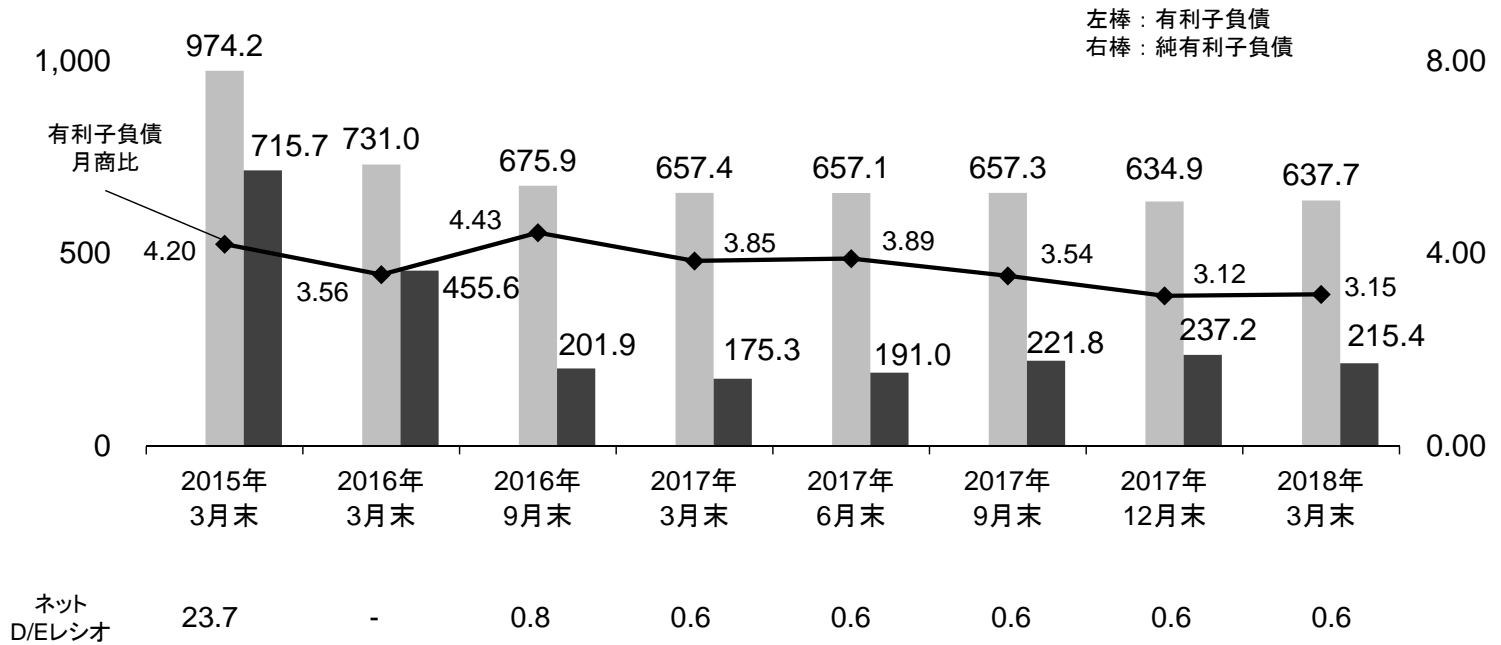
- ・ 次のスライドは、「たな卸資産」の推移です。
- ・ 2017年度末の「たな卸資産」は、第3四半期末の2,144億円から、ほぼ横ばいの2,197億円となりました。月商比は0.03ヶ月増の1.09ヶ月となりました。
- ・ 今後も、需要動向や販売リスクなどを適時把握し、引き続き適正な在庫水準を維持してまいります。

# 有利子負債の推移

- ・2018年3月末の有利子負債は、2017年12月末から、ほぼ横ばいの6,377億円となる。  
月商比では3.12ヶ月から3.15ヶ月に
- ・純有利子負債※は、2,372億円から2,154億円に減少

(単位:十億円)

(単位:ヶ月)



※純有利子負債：有利子負債 - 現預金

**SHARP**

11

- ・ 次のスライドは、有利子負債の推移です。
- ・ 2017年度末の有利子負債は、第3四半期末から、ほぼ横ばいの6,377億円となりました。  
純有利子負債は、業績が堅調であったことに伴い現預金が増加し、218億円減の2,154億円となりました。
- ・ 引き続き在庫の適正化や、効率的な設備投資の実施に努め、キャッシュフローの改善を図ります。

## Ⅱ. 2018年度 連結業績予想

- ・ 次は、2018年度の連結業績予想です。

- 中期経営計画は順調に進捗
- 2018年度の売上高、各利益は、  
いずれも2017年度を大幅に上回る見込み
- 市場動向を鑑み、中期経営計画策定時に比べ  
より保守的な想定為替レートを設定  
中期経営計画: 1ドル=110円 ⇒ 今回: 1ドル=102円
- 上記の前提でも、  
売上高、利益とも、中期経営計画の想定を確保

SHARP

13

- 次のスライドをご覧ください。
- 中期経営計画は順調に進捗しており、  
2018年度の業績は、売上、各利益とも、2017年度に続き、  
大幅に伸長する見込みです。
- なお、業績予想の算定にあたっては、市場動向や経済情勢を考慮し、  
中期経営計画策定時に比べ、より保守的な想定為替レートを設定しています。
- 今回の保守的な為替前提のもとでも、  
売上高、利益は、中期経営計画の想定水準を確保できる見込みです。

## 2018年度 通期 連結業績予想(2)

(単位:十億円)

	2017年度			2018年度			
	上期	下期	通期	上期予想	下期予想	通期予想	前年比
売上高	1,115.1	1,312.1	2,427.2	1,300.0	1,590.0	2,890.0	+19.1%
営業利益 (利益率)	40.5 (3.6%)	49.5 (3.8%)	90.1 (3.7%)	46.0 (3.5%)	64.0 (4.0%)	110.0 (3.8%)	+22.1%
経常利益 (利益率)	41.1 (3.7%)	48.1 (3.7%)	89.3 (3.7%)	43.0 (3.3%)	57.0 (3.6%)	100.0 (3.5%)	+12.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益 (利益率)	34.7 (3.1%)	35.4 (2.7%)	70.2 (2.9%)	36.0 (2.8%)	44.0 (2.8%)	80.0 (2.8%)	+13.9%
平均為替レート							
ドル円	110.07	109.64	109.86			102.00	
ユーロ円	124.79	131.62	128.20			126.00	

**SHARP**

14

- ・ 次のスライドは、2018年度通期の業績予想数値です。
- ・ 売上高は、前年度比19.1%増の2兆8,900億円  
営業利益は、前年度比22.1%増の1,100億円  
経常利益は、前年度比12.0%増の1,000億円  
親会社株主に帰属する当期純利益は、前年度比13.9%増の800億円  
と、いずれも大幅な伸長を見込んでいます。
- ・ 為替レートについて、中期経営計画より保守的な想定をしておりますが、中期経営計画は総じて順調に進捗しており、なかでも、海外市場における白物家電、昨年末に発売した8Kカメラ等の新規商材、PC・タブレット・車載用の中型パネル等の特長デバイスなどは、計画を上回る見込みであることから、売上・利益予想は変更しておりません。

## Ⅲ.補足資料

- ・ 補足資料として、「セグメント別売上高・営業利益」等の実績をまとめておりますので、ご確認下さい。
- ・ 新体制に移行して以来、継続的に構造改革、事業拡大に取り組み、配当を実施することができるまでに、業績を回復させることができました。今後も、これまでの流れを止めることなく事業拡大に取り組み、着実に中期経営計画を達成するとともに、収益力の強化と財務体質の改善を図ってまいります。
- ・ ご清聴ありがとうございました。



# 連結業績概要

(単位:十億円)

	2016年度			2017年度		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	919.6	1,130.9	2,050.6	1,115.1	1,312.1	2,427.2
営業利益	0.0	62.3	62.4	40.5	49.5	90.1
(利益率)	(0.0%)	(5.5%)	(3.0%)	(3.6%)	(3.8%)	(3.7%)
経常利益	-32.0	57.1	25.0	41.1	48.1	89.3
(利益率)	(-3.5%)	(5.1%)	(1.2%)	(3.7%)	(3.7%)	(3.7%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	-45.4	20.5	-24.8	34.7	35.4	70.2
(利益率)	(-4.9%)	(1.8%)	(-1.2%)	(3.1%)	(2.7%)	(2.9%)

SHARP

16

# 四半期 連結業績概要

(単位:十億円)

	2016年度				2017年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	423.3	496.2	571.5	559.3	506.4	608.7	714.2	597.8
営業利益	-2.5	2.5	18.8	43.5	17.1	23.4	29.7	19.7
(利益率)	(-0.6%)	(0.5%)	(3.3%)	(7.8%)	(3.4%)	(3.9%)	(4.2%)	(3.3%)
経常利益	-22.3	-9.7	16.7	40.3	17.1	23.9	29.9	18.2
(利益率)	(-5.3%)	(-2.0%)	(2.9%)	(7.2%)	(3.4%)	(3.9%)	(4.2%)	(3.0%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	-27.4	-17.9	4.2	16.2	14.4	20.2	20.6	14.8
(利益率)	(-6.5%)	(-3.6%)	(0.7%)	(2.9%)	(2.9%)	(3.3%)	(2.9%)	(2.5%)

SHARP

17

# セグメント別売上高

(単位:十億円)

	2016年度			2017年度		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
スマートホーム	263.6	286.9	550.6	290.6	317.3	607.9
スマートビジネスソリューション	159.6	158.0	317.7	162.7	168.4	331.1
IoTエレクトロデバイス	177.1	236.4	413.6	192.2	299.2	491.5
アドバンスディスプレイシステム	357.5	484.5	842.0	521.6	564.9	1,086.5
小計	958.0	1,166.0	2,124.0	1,167.2	1,349.9	2,517.2
調整額	-38.3	-35.0	-73.4	-52.0	-37.8	-89.9
合計	919.6	1,130.9	2,050.6	1,115.1	1,312.1	2,427.2

※セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

SHARP

18

# セグメント別営業利益

(単位:十億円)

	2016年度			2017年度		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
スマートホーム	14.4 (5.5%)	33.9 (11.8%)	48.4 (8.8%)	20.4 (7.0%)	23.2 (7.3%)	43.7 (7.2%)
スマートビジネスソリューション	11.2 (7.0%)	11.2 (7.1%)	22.5 (7.1%)	8.9 (5.5%)	11.2 (6.7%)	20.1 (6.1%)
IoTエレクトロデバイス	-1.5 (-0.9%)	9.5 (4.1%)	8.0 (1.9%)	3.6 (1.9%)	1.5 (0.5%)	5.1 (1.0%)
アドバンスディスプレイシステム	-14.6 (-4.1%)	18.2 (3.8%)	3.5 (0.4%)	16.3 (3.1%)	20.6 (3.7%)	37.0 (3.4%)
小計	9.5 (1.0%)	73.0 (6.3%)	82.5 (3.9%)	49.3 (4.2%)	56.7 (4.2%)	106.0 (4.2%)
調整額	-9.4	-10.6	-20.1	-8.7	-7.1	-15.9
合計	0.0 (0.0%)	62.3 (5.5%)	62.4 (3.0%)	40.5 (3.6%)	49.5 (3.8%)	90.1 (3.7%)

※()内の数字は営業利益率です。

SHARP

19

## 四半期 セグメント別売上高

(単位:十億円)

	2016年度				2017年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
スマートホーム	125.0	138.6	128.9	157.9	130.2	160.4	148.9	168.3
スマートビジネスソリューション	77.5	82.1	72.3	85.7	72.1	90.5	80.1	88.2
IoTエレクトロデバイス	75.0	102.1	140.5	95.9	83.2	109.0	189.3	109.8
アドバンスディスプレイシステム	167.1	190.3	245.4	239.0	249.6	271.9	314.6	250.2
小計	444.7	513.3	587.3	578.6	535.3	631.9	733.2	616.7
調整額	-21.3	-17.0	-15.7	-19.3	-28.8	-23.1	-18.9	-18.9
合計	423.3	496.2	571.5	559.3	506.4	608.7	714.2	597.8

※セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

SHARP

20

## 四半期 セグメント別営業利益

(単位:十億円)

	2016年度				2017年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
スマートホーム	2.3 (1.9%)	12.1 (8.8%)	2.9 (2.3%)	30.9 (19.6%)	9.9 (7.6%)	10.5 (6.6%)	10.6 (7.2%)	12.5 (7.5%)
スマートビジネスソリューション	5.9 (7.7%)	5.2 (6.4%)	4.1 (5.8%)	7.1 (8.3%)	3.0 (4.2%)	5.8 (6.5%)	3.6 (4.5%)	7.6 (8.6%)
IoTエレクトロデバイス	0.5 (0.7%)	-2.0 (-2.0%)	5.6 (4.0%)	3.9 (4.1%)	1.7 (2.1%)	1.8 (1.7%)	5.1 (2.7%)	-3.5 (-3.2%)
アドバンスディスプレイシステム	-6.8 (-4.1%)	-7.8 (-4.1%)	11.0 (4.5%)	7.1 (3.0%)	6.7 (2.7%)	9.6 (3.5%)	13.1 (4.2%)	7.4 (3.0%)
小計	1.9 (0.4%)	7.6 (1.5%)	23.8 (4.1%)	49.1 (8.5%)	21.4 (4.0%)	27.8 (4.4%)	32.6 (4.4%)	24.0 (3.9%)
調整額	-4.4	-5.0	-4.9	-5.6	-4.3	-4.4	-2.8	-4.3
合計	-2.5 (-0.6%)	2.5 (0.5%)	18.8 (3.3%)	43.5 (7.8%)	17.1 (3.4%)	23.4 (3.9%)	29.7 (4.2%)	19.7 (3.3%)

※()内の数字は営業利益率です。

SHARP

21

# 設備投資・減価償却費等

(単位:十億円)

	2016年度			2017年度			2018年度
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	通期予想
設備投資	27.4	50.3	77.7	73.2	46.1	119.3	120.0
内:ディスプレイ	12.7	21.4	34.1	16.7	18.7	35.5	40.0
減価償却費	27.4	32.3	59.7	28.8	39.6	68.4	88.0
研究開発費	55.8	50.2	106.1	50.2	50.2	100.5	110.0

(単位:円)

平均為替レート	2016年度			2017年度			2018年度
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	通期予想
米ドル	104.30	110.48	107.39	110.07	109.64	109.86	102.00
ユーロ	116.66	117.93	117.29	124.79	131.62	128.20	126.00

# 四半期 設備投資・減価償却費等

(単位:十億円)

	2016年度				2017年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
設備投資	10.2	17.2	35.4	14.8	18.8	54.4	33.7	12.3
内:ディスプレイ	5.6	7.0	14.1	7.2	3.2	13.5	11.0	7.7
減価償却費	13.5	13.8	16.2	16.1	14.1	14.6	19.4	20.1
研究開発費	29.7	26.1	29.3	20.8	28.7	21.5	30.8	19.3

(単位:円)

平均為替レート	2016年度				2017年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
米ドル	107.16	101.44	108.32	112.64	110.10	110.04	111.98	107.30
ユーロ	120.53	112.78	116.29	119.58	120.69	128.88	131.51	131.73

# SHARP

Be Original.

